

# Box & Google Cloud

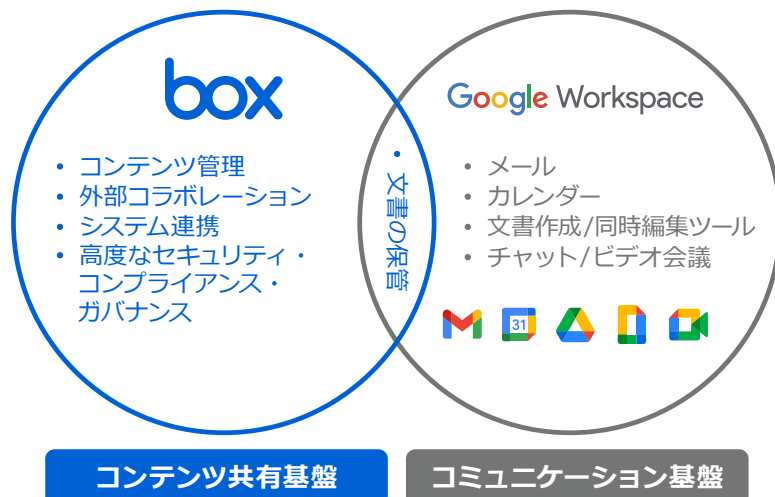
使い慣れた Google Workspace で  
セキュアにコラボレーション



# box & Google Workspace

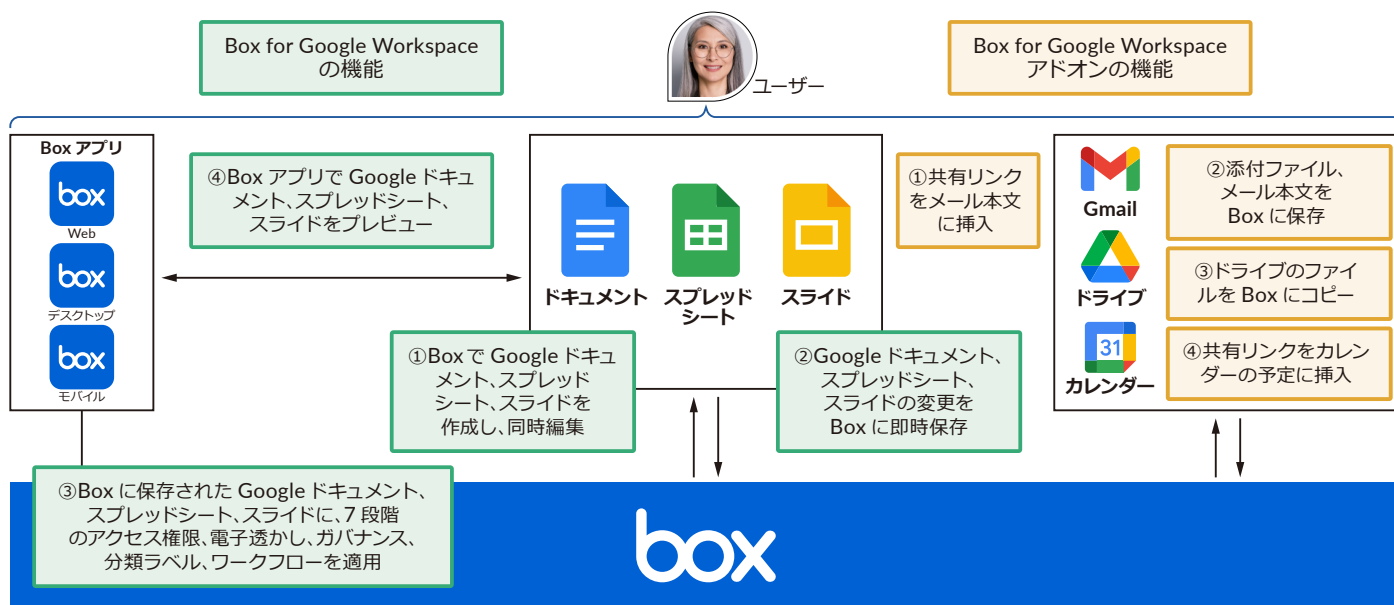
多様な働き方が浸透するにつれて、モビリティとコラボレーションの重要性が増すと同時に、業務に利用するアプリケーションの種類も増えています。複数のアプリ間で同一のコンテンツを共有するケースも多く、コンテンツをアプリ間でスムーズにやり取りできることで、業務効率が向上します。

Box と Google Workspace を連携させることにより、Google コラボレーションツール全般で利用しているコンテンツをセキュアな Box に一元管理できます。これにより、ユーザーは重要なファイルの所在を常に把握し、使い慣れたツールを継続して使用することができます。



## チームワークを強化し、コラボレーションを促進

Box と Google Workspace を組み合わせて利用することで、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドを同時編集し、編集内容をリアルタイムに確認できます。コンテンツは、Box の高度なセキュリティとコンプライアンス機能により保護されます。さらに、カレンダーや Gmail と Box を接続することで、企業内の価値あるコンテンツを信頼できる情報として一元管理できます。



## セキュリティ、コンプライアンス、ガバナンスを維持

### Box標準セキュリティ

7 段階のアクセス権限  
最大 7 年間の監査ログ  
保管時・転送時の暗号化

### コンプライアンス対応

業界規制・国際基準に対応  
(GDPR、PCI DSS、ISMAP など)  
Box Zones データレジデンシー  
(日本国内データセンター)

### box GOVERNANCE

データ保持  
リーガルホールド  
無制限のファイルバージョン管理

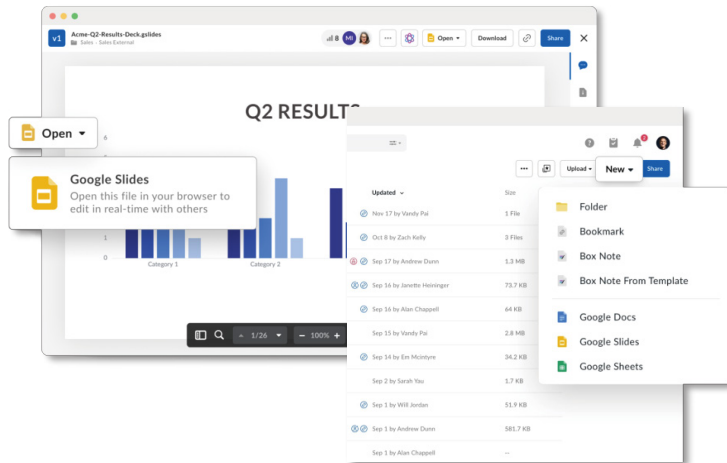
### box SHIELD

脅威検出  
分類ラベル  
分類ベースのアクセス制御

Box は、ゼロトラストの考え方にに基づき、きめ細やかなアクセス制御やファイルの暗号化などのコンテンツ保護機能を標準装備しています。さらに、インテリジェントなデータ漏洩防止と脅威検出を行う「Box Shield」、コンテンツのライフサイクル全体を管理できる「Box Governance」で、機密情報を含む重要なデータを保護し、経済的損失、法的問題、信頼低下のリスクを低減できます。

Box は、さまざまな業界規制や国際基準にも対応。国内データセンター利用も可能です。

# Box for Google Workspace

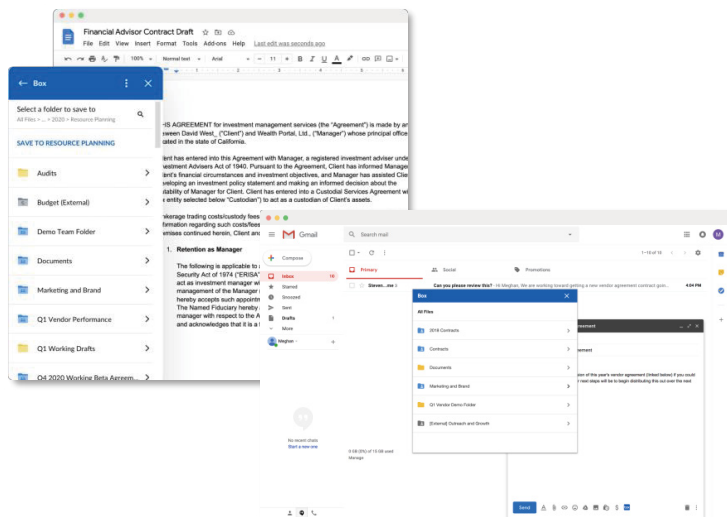


## Google ファイルを Box で一元管理

Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドの作成や編集、共同作業を Box 内でシームレスに行うことができます。Google ファイルは、Box に自動保存されます。Box 内の Microsoft Office ドキュメントの表示、編集も可能です。

Box に保存することで、重要なコンテンツを一元管理できます。Box に保存された Google ファイルは、Box のエンタープライズグレードのセキュリティとコンプライアンスで保護されます。

# Box for Google Workspace アドオン



## Gmail、ドライブ、カレンダーと連携

Gmail に Box の共有リンクで Box 上のファイルを共有したり、Gmail の添付ファイルを Box に直接保存することができます。Google ドライブの Google ファイルを Box に直接移行でき、Box でコンテンツを保護しながら活用できます。Google カレンダーでは、Box の共有リンクを添付したり、新しい Box Notes を作成できます。

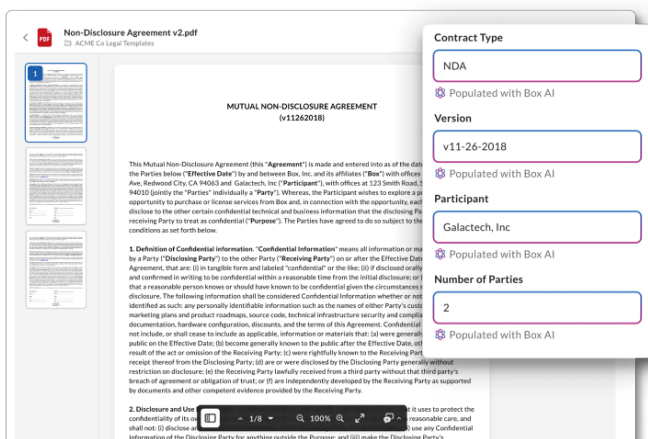
Box と Gmail、ドライブ、カレンダーを直接連携させることで、コンテンツでの作業がシンプルかつ安全かつ効率的になります。

[Box for Google Workspace](#)  
[アドオンをインストール](#)

# Box AI for Metadata API

\*ベータ版提供中

\*Box AI for Metadata API には、Google Vertex AI を使用予定



## AI でメタデータを自動抽出

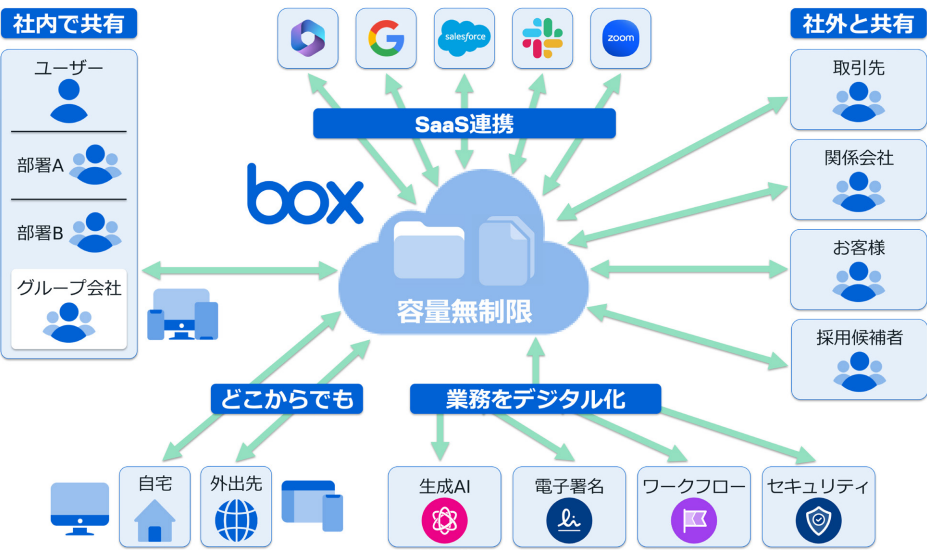
Box AI for Metadata API で、期限切れ間近の契約書や当月中に支払いが必要な請求書などの重要な情報を提供するために、ドキュメントを自動的に分類して、ラベルを付与することができます。また、メタデータテンプレートを定義して、自動的に署名された請求書や個人情報 (PII) の分類など、個別のユースケースに合わせた情報を抽出することができます。

Box のワークフロー自動化ツールを組み合わせることで、ファイルのメタデータに基づいてプロセスを自動化し、重要な項目を抽出し、ERP や CRM などの外部システムとも連携できます。

# 使い慣れた Google Workspace でセキュアにコラボレーション

[boxsquare.jp/box-google](https://boxsquare.jp/box-google)

# Box はコンテンツを一元管理できるコンテンツクラウド



Box なら、容量無制限でファイルを保存できるだけでなく、社内外との安全なファイル共有、どこからでもアクセスできる柔軟性、使い慣れたアプリとの連携、DX を実現する生成 AI、電子署名、ワークフロー自動化など、エンタープライズグレードのセキュリティ・コンプライアンス・ガバナンス機能でコンテンツを保護しながら一元管理し、活用することができます。

Box は、ビジネス用のコンテンツを管理するクラウド「コンテンツクラウド」です。

## Box と連携できるアプリは 1,500 以上

Box は、Microsoft 365 や Google Workspace、Slack、Zoom などの生産性向上アプリから、Salesforce や Oracle NetSuite などの基幹業務アプリまで、1,500 以上のアプリと連携できます。さらに、250 以上の国内ベンダーが提供するアプリとも連携できます。連携できるアプリは、「エコシステムソリューション集」でご確認いただけます。



エコシステム  
ソリューション集


## Enterprise プラン以上なら連携アプリは無制限

Microsoft 365、Google Workspace、Slack といった主要なアプリとの連携は、どのエディションでもご利用いただけます。そのほかのアプリとの連携は、エディションによって上限が異なります。

アプリ連携	Business	Business Plus	Enterprise	Enterprise Plus
主要なアプリ	●	●	●	●
アプリ連携	いずれか 1 種類	10 種類まで	無制限	無制限
SSO 連携		●	●	●



Box のエディション  
の違い



**株式会社 Box Japan**  
〒100-0005  
東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 15 階  
<https://www.bboxsquare.jp/>  
Box 導入に関するお問い合わせ  
<https://www.bboxsquare.jp/inquiry>  
Box 製品ご購入後のサポートに関するお問い合わせには  
返信できませんので、予めご了承ください。

**Box の導入を検討している人必見！すべての機能がまるわかり  
Box 製品セミナー**

Box のエバンジェリストが、お客様が抱えているビジネス課題をコンテンツクラウド「Box」でどのように解決できるかを導入事例を交えてご紹介いたします。さらに、Box の基本機能を利用し、先進機能も活用することで業務を変革する具体的な方法もご紹介いたします。

<https://www.bboxsquare.jp/product-seminar>

